



ご自由にお持ちください

日本赤十字社

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど



2016.12

Vol.29

## からだところの橋渡し 精神科リエゾンチーム 参上します



「チーム医療」という言葉がよく聞かれるようになりました。1人の患者さんに対して、病院内にいる様々な医療職が連携し、治療や看護を行うという意味です。当院にもいろいろなチームがあり、過去の「あいのまど」でもご紹介してきました。

今回は、今年5月に発足した精神科リエゾンチームの特集です。「リエゾン」とは聞きなれない言葉かもしれませんがね。リーダーの橋本誠精神科部長に聞きました。

◀ チームワーク抜群のメンバー（前列中央が橋本部長）

### 眠れていますか？

入院生活で眠れていますか。眠れないと痛みや辛さが増します。先の見通しが立たず、不安になっていませんか。病状が思わしくなく、落ち込んでいませんか。

ご家族に話したり、主治医や看護師に相談することもできます。けれど誰にも言えないこともあるかもしれません。精神科リエゾンチームは、そうした時の応援団のひとつです。

### 精神科リエゾンチームとは

「リエゾン」とは、綿密な連絡・連携という意味です。身体と精神は密接に結びついています。しかし、医学が高度になるにつれ、専門は細かに分かれています。ゆえに、精神科リエゾンチームとは、身体と精神（主治医チームと精神科チーム）に「橋渡し」することが役割です。さらに、患者さんと主治医や看護師、患者さんとご家族、病院と社会など、様々なところに橋を渡したいと思えます。患者さんだけでなく、そのご家族の不安などについてもサポートします。

そのために、次のような多職種が異なる視点から多角的にアプローチして、入院生活における苦痛軽減のお手伝いをします。

### チームメンバー

精神科医、認知症認定看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、薬剤師、事務職員から構成されています。

### チームに相談したい時は

主治医または看護師にご相談ください。精神科医または認知症認定看護師がベッドサイドに伺います。毎週火曜日9時～11時にチームで各病棟へ診察に回っています。何でもお気軽にご相談ください。

### どんなことに対応するの？

9月までの間に述べ62名に対応し、その9割近くが「せん妄状態」でした。せん妄状態とは、薬の副作用や熱が上がるなどの体調不良が、脳に負担となり軽い意識障害を生じて、「夢うつつ」の状態—秋田弁の「モゾ」こいている状態のことです。点滴を抜いたり夜に徘徊したりと危険だけでなく、「呆けた」「気が違った」と勘違いされやすいのですが、薬を変更したり、からだの具合が良くなると多くは回復します。

リエゾンチームは、回復の後押しとご家族の驚きへの対応をします。身近なご家族が慌てると、せん妄状態を悪くすることもあるからです。

「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。



## かぶの甘酢和え

Today's Chef  
管理栄養士  
平川ひとみ



季節の食材のかぶと菊の花を使った食物繊維たっぷりの1品です。

酢を使うことで減塩にもなるため、入院患者さんに提供する減塩食のメニューにも取り入れています。



さっぱりとした  
初冬の味

### 材料(1人分)

かぶ	40g
菊の花	3g
板かまぼこ	8g
酢(菊の花をゆでる)	5g
塩(かぶの塩もみをする)	0.1g
<b>調味料</b>	
酢	5g
砂糖	3g
塩	0.2g

- 1 かぶは薄いイチョウ切りにする。
- 2 ①のかぶに塩をふり、軽く塩もみをする。しんなりしたら流水で塩を洗い流し、水気を切る。
- 3 菊の花は花びらを外して水洗いをする。
- 4 沸騰したお湯に酢を入れて菊の花をゆでる。鮮やかな黄色になったら冷水に取り、水気をしぼる。
- 5 板かまぼこは短冊に切る。
- 6 かぶ、菊の花、かまぼこを調味料で和えて、器に盛りつける。



## 「小児泌尿器科」のご紹介

泌尿器科は大人だけが通う科であるという印象はないでしょうか。小児科、泌尿器科は知っていても、小児泌尿器科という言葉は聞いたことがないという方も多いと思います。小児泌尿器科は腎臓、膀胱、尿管、尿道などの腎・尿路や外陰部・精巣などの子供に起こる病気を対象としています。もちろん、先天性疾患や性分化疾患なども対象です。小児泌尿器科疾患は、子供の成長発達と共に、良い方向にも悪い方向にも変化する可能性があるため、長期的・専門的な視野で疾患を考える必要があります。

### 泌尿器科では北東北で唯一、定期的に手術を実施しています

当院は、泌尿器科が小児泌尿器科疾患の手術治療する数少ない病院の一つ(北東北では唯一)です。小児泌尿器科疾患は、小児期には困らなくとも、成人になったときに初めて問題となることもあり、その子が成人したのちの腎機能や生殖機能も視野にいれて、治療・検査を進められるということが、泌尿器科が小児疾患を担当するメリットです。もちろん、小児期の患者さんには、小児科の先生ともしっかり連携して治療に当たります。子供の尿路、外陰部について気になることがありましたら、当院の泌尿器科を受診なさってください。

## おたより Otayori



From

泌尿器科副部長  
小原 崇  
Takashi Obara

Profile

出身地  
岩手県北上市

趣味

バレーボール  
自転車